

滋賀県損保特殊暴力対策協議会総会を開催

～損害保険事業の健全な発展のため、損保業界と関係機関が連携することの重要性を再確認～

日本損害保険協会近畿支部委員会（委員長：東口 嘉仁・三井住友海上火災保険株式会社 執行役員 関西地区担当）では、11 月 7 日（金）に滋賀県草津市内で、令和 7 年度の滋賀県損保特殊暴力対策協議会総会を開催し、来賓・顧問・会員など 28 名の出席がありました。

開会に際し、当協議会の佐藤 浩司 会長（三井住友海上火災保険株式会社 滋賀支店長）から、日頃からの関係各位の連携・協力に謝辞を伝えるとともに、「一般消費者の皆様の利益を守り、保険制度全体に対する社会の信頼を維持していくためにも、損害保険業界として、保険制度を悪用する保険金詐欺や不当請求に対し、断固・毅然とした姿勢で対処していかなくてはならない」との挨拶がありました。

また、来賓の公益財団法人滋賀県暴力団追放推進センター 伊藤 和彦 専務理事から、「暴力のない明るく住みよい滋賀県を作るために、暴力団排除活動に引き続きの協力をお願いしたい」と挨拶があったほか、顧問の滋賀県警察本部刑事部 吉田 隆史 参事官からは、「滋賀県においても、匿名流動型犯罪グループ（トクリュウ）による SNS 型特殊詐欺が増加している。暴力団を含めた犯罪組織の弱体化を図るためには、関係各位との連携が不可欠であり、引き続き協力願いたい」、同じく顧問の同警察本部交通部 関札 幸夫 交通指導課長からは、「自動車保険は手厚い制度で被害者救済という社会的使命を果たしているが、これを悪用した保険金詐欺も後を絶たない状況である。健全な保険制度の実現に向けて、保険金詐欺の抑止に努めるのでさらなる協力をお願いしたい」と挨拶がありました。

続いて、当協議会の服部会員（あいおいニッセイ同和損保社）から、令和 6 年度の活動報告および令和 7 年度の活動計画（案）の提案があり、令和 7 年度も情報交換およびデータ活用による当協議会の活動の活性化、警察との連携などに取り組むことが満場一致で承認されました。

次いで、当協議会の竹村会員（三井住友海上社）から、「損害保険事業の社会公共性を鑑み、警察との緊密な連携のもとにあらゆる暴力や犯罪を排除し、事業の健全な発展をはかる」旨の決意文が力強く読み上げられ、最後に、当協議会の岡田会員（損保ジャパン社）から「社会公共性の高い損害保険事業の健全な発展のため、警察等とも連携して保険関連犯罪の根源を断ち切るべく様々な対策に全力で取り組んでいく」旨の挨拶があり、第一部を終了しました。

第二部の特別講演では、滋賀県警察本部 交通部交通指導課の 山本 忍 課長補佐から、「交通事故をめぐる保険金詐欺の現状について」と題して、滋賀県内の交通事故の現状、事故削減に向けた滋賀県警察の各種取り組みに加え、保険金詐欺の実態、具体的な手口について講話をいただきました。

当支部では、警察をはじめ関係諸機関・団体と連携し、民事介入暴力対策および不当不正請求対策を進め、健全な損害保険事業の運営を行うため、各府県に協議会を設置しています。

なお、総会の概要は以下のとおりです。

令和 7 年度 和歌山県特殊暴力対策協議会総会 式次第

第 1 部 総会

1. 開会挨拶
2. 来賓紹介・挨拶 公益財団法人滋賀暴力団追放推進センター 専務理事 伊藤 和彦 様
3. 顧問・参与の委嘱ならびに役員の選出
4. 顧問挨拶 滋賀県警察本部 刑事部参事官 組織犯罪対策課長事務取扱 吉田 隆史 様
滋賀県警察本部 交通部交通指導課長 関札 幸夫 様
5. 令和 6 年度活動報告・令和 7 年度活動計画（案）
6. 決意文採択
7. 閉会挨拶

第 2 部 特別講演 滋賀県警察本部 交通部交通指導課課長補佐

山本 忍 様



開会挨拶をする佐藤会長
(三井住友海上社)



活動報告を行う服部会員
(あいおいニッセイ同和損保社)



決意文を読み上げる竹村会員
(三井住友海上社)



閉会挨拶をする岡田会員
(損保ジャパン社)



特別講演を行う山本参与
(滋賀県警察本部 交通部)



司会を行う北浦代表幹事
(東京海上日動社)